

市長とのおしゃべり会 会議録				
日 時	令和7年1月10日（金） 10時～11時			
場 所	あいくる 会議室2			
出席者	申込団体	ママチル	人数	12人
	碧南市	小池市長、健康課長		
テーマ	碧南市子育て世帯の現状について			
(概要)	・ 碧南市の少子化にSTOPを こいけ市長に産める・産む世代のリアルな声を届けたい！			
要旨				
産める・産みたい世代が気兼ねなく子供を産み、健やかに子育てできる環境さえ整っていれば、自然と子どもは増える。そんな環境づくりを行政と市民で手を取り合って【碧南市で子どもを産みたい！！】と、思われるようなまちづくりに向けての意見交換を行った。				
主な意見は、以下のとおり				
・ 不妊治療をしてもらえる病院が近く（市内）にない。				
・ 不妊治療のできる病院には、子どもを連れていけないので、不妊治療枠を設けるなどプチ保育の充実を！				
・ プチ保育の申請がアナログでデジタル化できないか。				
・ 保育料の2人目半額は、同時入園でないと受けられないのがおかしい。				
・ 兄弟が別々の園に入園しており、送迎が大変。				
・ 子育て支援センター等を利用しても、他の親子との交流ができない。				
・ 中央地区に子育て支援センターのような施設がない。				
・ リモートやフリーランスなどの在宅勤務では、児童クラブに入れない。				
・ 多胎児家庭への支援回数を増やしてほしい。				
・ 赤ちゃんおめでとう訪問の時に、助産師さん保健師さんに訪問してもらいたい。				
・ 陣痛タクシーがあるとよい。				
・ 東京都のような無痛分娩の助成制度があるとよい。				
・ ファミリーサポートセンターのマッチングが少ない。				
これらの対策として				
○不妊治療のできるクリニックの誘致が困難であれば別の支援を				
○産後ケア・プチ保育などがデジタルで申請できるとよい				
○今あるサービス・支援をより多くのママに認知してもらうためにSNSの活用を				
○行政と市民で協力し合ってより子育てしやすい碧南市へ				
(市長総括)				
・ 保育士不足から、施設等があっても事業を行うことができないので、潜在保育士等がいたら紹介してほしい。市民病院ももっと利用してほしい。				
・ 赤ちゃんサロンや子育て支援センターなど相談できるところがたくさんあるので、自ら動き探しながら、サービスを利用してほしい。				